

GREEN RANGER NEWS

2023年7月号 Vol.350



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■6月の活動報告

・6月11日(日)[例会]混交林、アナグマの森のカラマツ伐採、木工(工具説明)

途中、また田植えをしている人達に会う。其々時季があるのだろう。雨が強くなって来た、大丈夫だろうか。

駐車場に着くなり、丸ノコやサンダーの音が植林地に響き渡る。ホトギスが負けずと叫び、遠くでキジも応えている。この雨では伐採作業もできず、何かを作っているようだ。まな板のようである。包丁が傷みにくく、木ならではの音と香りを楽しむ「木製まな板」、手入れのコツさえしっかりおさえておけば、快適に使えるそうである。



お昼ご飯、食べました。少し小降りになってきた様なので、身近なところでフキでも採りに行こうかとなった。ちょっと早いようだが、太めのを探して採る。サンショウの実が採り頃、雨も気にならなくなった。オオナルコユリも咲いている。これはヤマユリか？、蕾が付いている。ヤマユリはイノシシに根を掘られ、当植林地では絶滅危惧種に指定したい程の貴重なものになっているのである。なんだかんだと天気に文句を言いながら、いい一日を過ごすことができました。ゼンテイカ(ニッコウキスゲ)の花の味もなかなか乙だったでしょう！！ 参加者:9名

・[例会]6月25日(日)彩遊の森の枝打ち(アカマツ)、木工(工具説明)

沖縄地方は梅雨明けしたとか、東北はまだまだなようで、少しノコギリを挽くと汗がしたたり落ちる。今日の枝打ちは、作業小屋周辺から始まった。かつてススキの原野の様な所が、陽が射さない程の林になった。植林した木々の成長を喜んでいいのだろうか、暗くなった林を明るくするのはなかなか大変である。時々、「休憩！」の叫び声に呼応して集まり、草花の植生の変化などを話し合う。植物たちは知らぬ間にそれぞれの環境に合わせて生きているようで、



林床には無数の種がひそみ、私の出番はいつなのかとじっと待っているのではないだろうか。そう言えば、彩遊の森のチマキザサが花を付け、枯れてきた。その跡にどんな植物が現れてくるの

か楽しみである。水分補給をしてまたひと働き、少しは明るくなったろうか。「お昼だよ～!」、「ハイ!!」、元気がいい。

午後は散策でもとなり、1箇所動物観察カメラを増設してから合流。彩遊の森のそんなに太くない桑の木、枝打ちでもしたかのように折れて重なって地についている。この枝の太さでは子熊でも耐え切れないだろう。大きな桑の木の実はまだ熟していないのかまだ今年の痕跡はない。その内上るだろうか。参加者:5名

次回7月9日(日)は「荒浜海岸林の刈払い、クズの駆除、定点撮影」です。お間違いないように。

■今後の活動について

[海岸林]

日時:7月9日(日) 10:00

場所:海岸公園センターハウス前

内容:荒浜海岸 刈払い、クズの駆除、定点撮影

[例会]

日時:7月23日(日) 10:00

場所:作業小屋

内容:彩遊の森の枝打ち(アカマツ)